

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026年4月30日

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス チル・リブ 多摩川ルーム

対象人数（保護者）27人 回答者数 25人 回収 92.6%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		6	全ての設間に対してですが、今年の3月から利用してまだ3回しか行っておりませんので、全容が把握できておりません。	公園や他施設等を利用し、工夫して分散をしながらスペース確保できるようにしている。今後保護者の皆さんに、活動を公開できるできる場面を作っていきたい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	3		7		保護者会、お便りで職員の紹介を行い専門性などを公表する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	6		7		子どもに分かりやすく構造化された環境を継続的に実施し、バリアフリー化の配慮も継続していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2		5		5Sを継続して実施していく。活動に応じたレイアウトを進めていく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3		3	専門性のある支援なのかは保護者も知識がないため、わかりかねます。ただ、こどものことを真剣に向き合っていて考えて下さいます。	利用者及び保護者のニーズにそり特性等の応じた専門性のある支援を継続します。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			2		子どもたちの状況により、支援プログラムに柔軟性を持たせて対応していく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	23			2		本人支援を中心に家族支援や地域支援も踏まえた計画書を作成していく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			3		本人支援を中心に家族支援、地域支援、移行支援を継続して設定して具体的に支援内容を設定する。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2		2		放課後等デイサービス計画の事業所内展開を適時行い、職員全体で統一した支援を実施していく。
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1		2	土曜日の外出イベントは多彩で子どもも参加したいと言っています。いろいろな経験ができるのもとてもありがたいと思っています。	利用者の笑顔がたくさんになるような活動プログラムを工夫していく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があります	7	4	3	11		子どもたちの発達状態を加味しながら、他施設や地域との関わりを計画、実施していく。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1				面談時、保護者会、お便り等により、運営状況の説明をしていく。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	2	1	3	これから聞く予定です。	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明している。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1		4		保護者会時に研修会を実施。お便りにて、ご家族に有益な情報を提供していく。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	4		1		保護者会、お便りで職員の紹介を行い専門性などを好評します。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2		1		定期的な面談を行っています。その他LINE等で子育てに関する助言支援を行っている。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1		2	子どもは支援員さんが何をしても僕を受け入れてくれると言っています。	利用児童に対して共感的な対応が出来るよう職員育成をしていく。	

